

JR 西日本による駅舎シンプル化について

建設水道委員会資料

令和2年12月9日

交通政策課

資料 2

1. 対応経過

H31.3 JR 西日本から説明

- ・将来の維持管理コストの削減を図るため、駅の無人化や駅舎設備の更新など、全社的に駅の運営体制の見直しを実施していく。

[更新基準]乗降人員3,000人/日未満かつ建物経年60年以上の駅舎⇒令和2年度以降15年かけて更新予定

[対象駅] 山陰本線：福部駅、湖山駅、宝木駅、浜村駅、青谷駅

因美線：津ノ井駅、国英駅、用瀬駅、因幡社駅

R1.10 JR 西日本との意見交換⇒山陰合同銀行（駅ナカ）の撤退に伴い、宝木駅がリストアップされる。

R2.1 気高町地域振興会議で状況説明

R2.4 JR 西日本から更新内容の提案

- ・①JRによる更新及び維持管理 ②市へ無償譲渡し市による整備及び維持管理 ③JRと市の共同整備。市が維持管理。
- ・令和2年度中に市の対応方針を示す。

R2.8 JR 西日本から状況報告⇒新型コロナウイルスの影響で関連予算が凍結となり更新作業が遅延している。

R2.9 9月定例会での一般質問（上杉議員）に対し、基本的な考え方を表明

[市の対応方針] 本市のファシリティマネジメントの観点から、利便性を損なわない範囲でのシンプル化はやむを得ない

[今後の対応] JR 西日本に対し、住民説明会の開催や利便性の確保に対する要請を行う

R2.10 JR 西日本に対し要望書を提出

- [要望事項] ①駅利用者の利便性が低下しない計画としていただきたい
②沿線住民に対し、シンプル化の説明と情報提供を実施し、十分な理解を得ていただきたい
- [回答内容] ①過大なものは提供できないが、お客様のご利用に応じたレベルの設備を提供する
②ダイヤ改正等と同様、今まで通り鉄道をご利用のお客様には、前広に周知していく



2. 今後の予定

- ・令和2年～3年にかけて米子支社管内全体での調整を図りながらシンプル化の計画策定を進めていく。
- ・鳥取市内対象駅のシンプル化は、令和4年度以降の実施になる見込み。
- ・シンプル化は、修繕が必要な駅舎を優先に実施する。（宝木駅が初めとも限らない。）